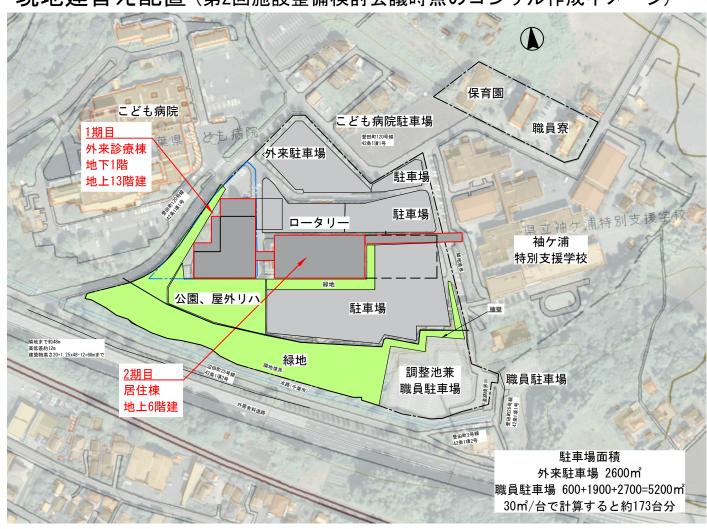
現況図



現地建替え配置 (第2回施設整備検討会議時点のコンサル作成イメージ)



建物形状について

第2回検討会議時点において、現センター運営への影響を最小限とするため、第1期目の工事である「外来診療棟」の建設用地を公園部分のみで検討を行った。 この場合、「外来診療棟」のもっとも広い1フロア面積は約2,500㎡であり、現センターの「本館棟」と「中央棟」との1フロア合計面積(約4,100㎡)よりも狭くなる見込みである。 現センターとできるだけ同程度の1フロア面積を確保する場合には、建設用地を拡大する必要がある。

そのためには、現センター建物の一部を先行解体し現センター機能を一部縮小するなど、運営面での影響が生じることが課題として挙げられる。

部門配置イメージ 第2回施設整備検討会議時点

部門配置イメージ 用地拡大する場合

